

大北地域の森林概要

(データは民有林の現況等から 令和3年9月1日現在)

1 森林の現況

管内の森林面積は93,491ha 84.3%、森林率は県全体より高い。

管内の人工林は13,874ha 27.7%、県平均より約20%低い。

雪が多く、植栽木の生育に差がある。小規模・分散所有者が多い。

地籍調査が進んでいない。また、まとまった面積が少ない。

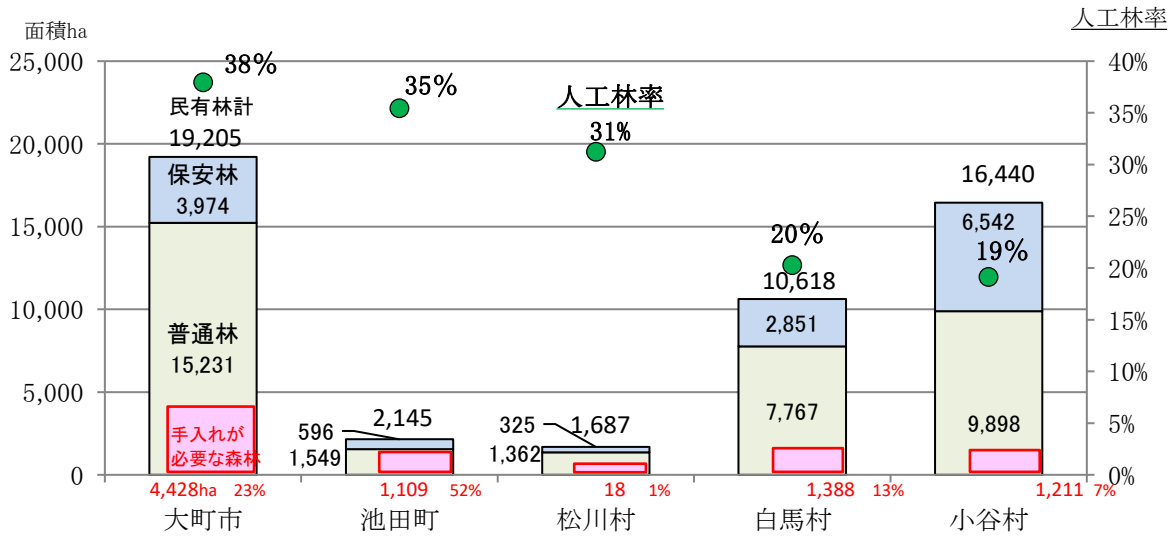
(単位：ha)

区分	管内	全 県	全県に占める割合
地域総面積	110,965	1,356,160	8.2%
森林面積	93,491	1,057,038	8.8%
国有林	43,396	370,050	11.7%
民有林	50,095	686,988	7.3%
人工林	13,874	334,794	4.1%
保安林	14,288	235,631	6.1%
森林率	84.3%	77.9%	
人工林率	27.7%	48.7%	
保安林率	28.5%	34.3%	
地籍調査	3%	30%	全国の進捗率 46%

2 市町村別民有林面積

市町村別の民有林面積は、大町市、小谷村、白馬村の順となっている。

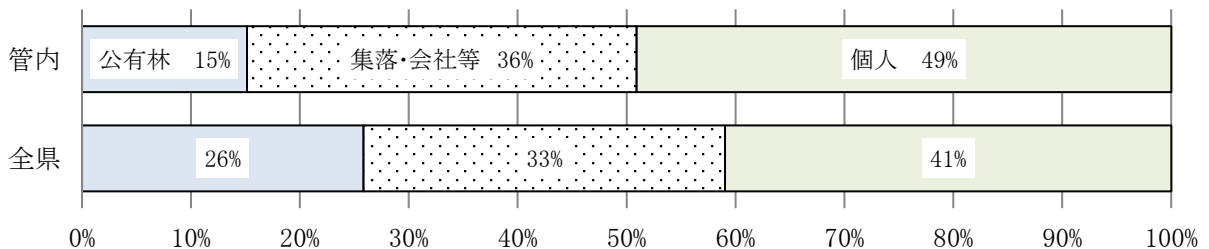
森林経営管理制度の対象の「手入れが必要な森林」は赤字の面積と割合のとおり



3 民有林の状況

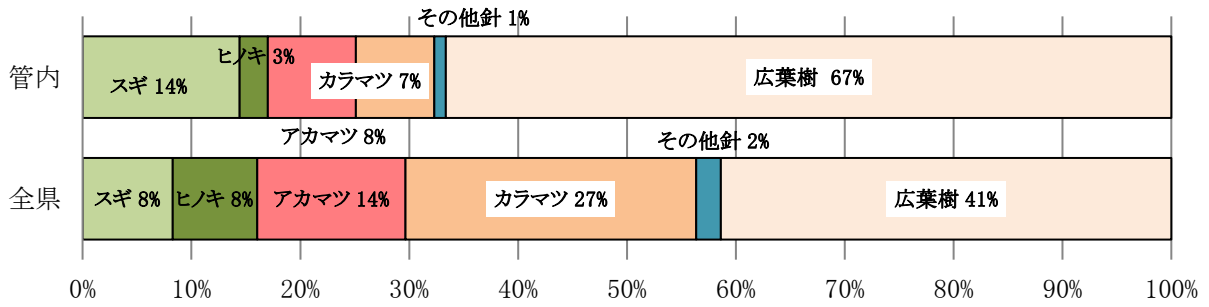
(1) 所有形態別面積割合

所有形態別面積の割合は、全県と比較すると公有林（県有林、市町村有林、財産区有林等）が少なく、個人有林が多い。



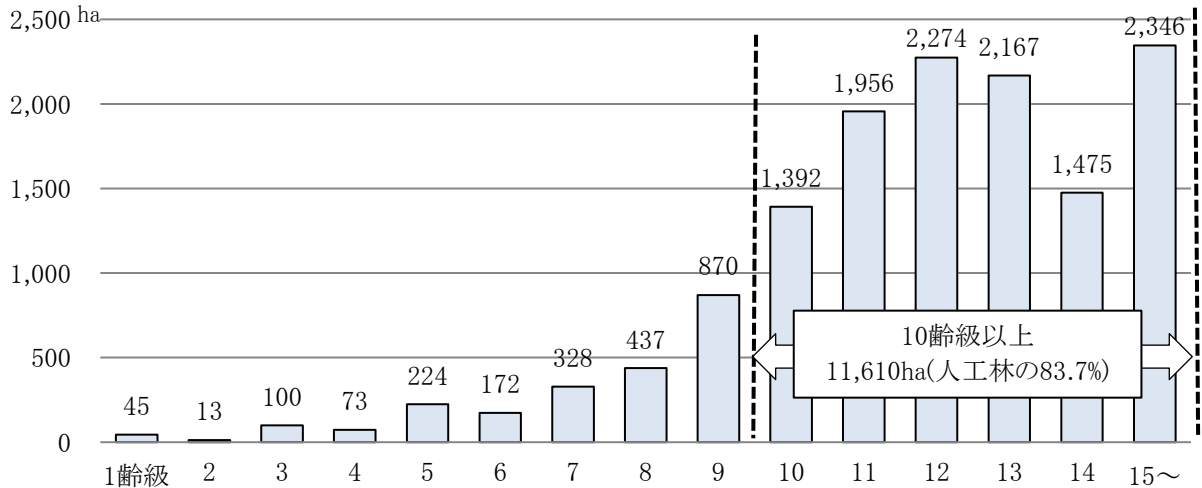
(2) 樹種別面積割合

樹種別面積の割合は、全県と比較すると、広葉樹が多く67%を占めている。



(3) 人工林齢級別面積

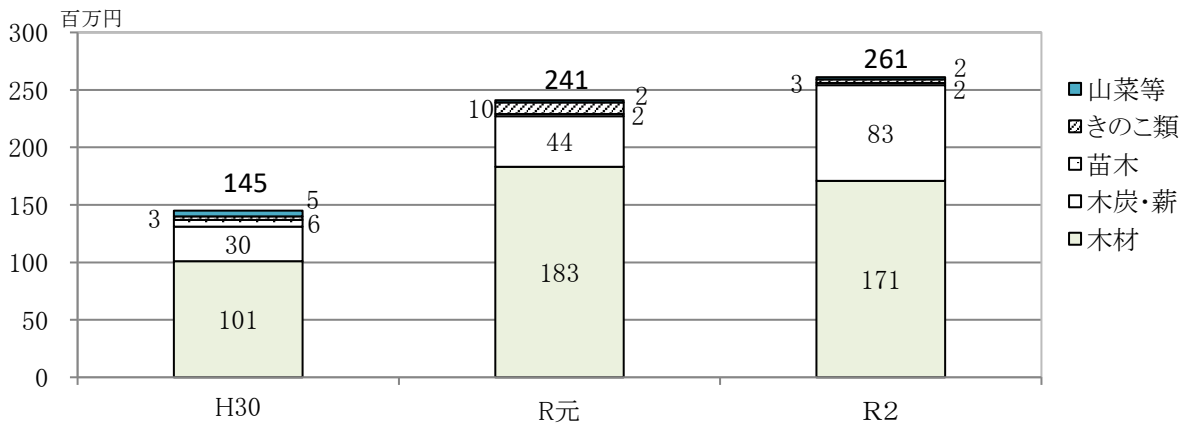
管内人工林の林齢別面積は、10齢級（45年生）以上が83.7%を占めており、資源として利用可能な森林が多くなっている。



※ 齢級 = 立木の林齢を1年生から順に5年ごとに区分したもの。1~5年生は1齢級、6~10年生は2齢級。

4 林業生産額（推計値）の推移

林業生産額は、主に木材・薪の生産で占めており、R元からは横ばいとなっている。



5 林道・作業道整備状況（令和2年度末）

林業の生産基盤となる林内路網整備状況は、路網密度が18.2m/haと管内目標は超えたが、県目標21.6m/haには満たないため、引き続き整備が必要である。

区分	現況								目標密度 m/ha
	林道		作業道		公道		計		
	延長 km	密度 m/ha	延長 km	密度 m/ha	延長 km	密度 m/ha	延長 km	密度 m/ha	
管内	281	5.6	364	7.3	267	5.3	912	18.2	14.4
全県	4,849	7.1	3,861	5.6	5,929	8.6	14,639	21.3	21.6

*R4目標値 21.6ha(森林づくり指針による)